

Portable Standalone Sampler

# SXC-1

## ガイドブック

(取扱説明書)

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。



### CONTENTS

**PART**  
 **まずはじめに  
準備編** **Page.**  
**12~**

**PART**  
**1** **指先から熱いビートが溢れ出す!  
パッドプレイ編** **Page.**  
**14~**

**PART**  
**2** **自分の声や周囲の音が音楽になる!  
サンプリング編** **Page.**  
**27~**

**PART**  
**3** **パズル感覚でグルーブが生まれる!  
シーケンサー編** **Page.**  
**35~**

**PART**  
**4** **サンプルのリメイクやアプリの活用も!  
スキルアップ編** **Page.**  
**46~**

**CASIO**

JA

## あらかじめご了承ください

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気づきの点などがありましたらご連絡ください。
- 本書および本機の使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書に記載の準備や設定を行わずに使用すると、本機のご利用に支障が生じる可能性があります。
- 本書の説明・表示例やイラストなどは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

# 安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。



## 警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



## 注意

軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

### 絵表示の例



水ぬれ禁止

○記号は「してはいけないこと」を意味しています  
(左の例は水ぬれ禁止)。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。



## 警告

### 電池について



電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。

目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。



乳幼児の手の届く所に電池を置かない。

お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

### USBケーブルについて



USBケーブルによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。

- ・指定品以外のUSBケーブルは絶対に使わない
- ・指定品以外のUSB-ACアダプターは絶対に使わない
- ・付属のケーブルを、本機以外に使用しない
- ・重いものを乗せない、USBケーブルを束ねたまま使わない
- ・加熱しない、加工しない、傷つけない
- ・無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない



ぬれ手禁止

濡れた手でプラグに触れない

- ・感電の原因となります。



ケーブルが傷んだら、「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する。

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。



感電注意

雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。

- ・感電の原因となります。

 **警告**

**置き場所・使用場所について**



次のような場所に置かない、使わない。

- ・湿気やほこりの多い場所
- ・台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- ・暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所
- ・振動の多い場所
- ・その他、高温や低温の所（本機は0℃～40℃の環境内でご使用ください）

火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かない。

落下・転倒時には、けがの原因となります。



本機の上に重いものを置かない。

落下・転倒時には、けがの原因となります。



乗物を運転中にヘッドホンを使用したり、本機の操作をしたりしない。

交通事故などの原因となります。



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所で本機やヘッドホンは使わない。

事故やけがの原因となります。

**異常(煙・臭い・発熱など)について**



発煙・異臭・発熱などの異常状態で使わない。落としたりするときなど破損したまま使わない。

火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。

1. 電源を切る
2. USBケーブルを外す
3. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する

**水・異物は避ける**



水、液体(スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など)、異物(金属片など)が本機や本機のUSBコネクタの内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

1. 電源を切る
2. USBケーブルを外す
3. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する



水ぬれ禁止

本機の上やそばに花瓶など液体の入ったものを置かない。

倒れて、液体がかかると火災・感電の原因となります。



ぬれ手禁止

濡れた手で操作しない。

感電の原因となります。

## 警告

### 表示部について



表示部は強く押さない、強い衝撃を与えない。  
画面のガラスが割れてけがの原因となります。

### 分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。  
内部の点検・調整・修理は「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する。  
感電・やけど・けがの原因となります。

## 注意

### 電池について



破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・本機で指定されている電池以外は使わない
- ・極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる
- ・長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
- ・電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する
- ・被覆のはがれた電池は使わない



電池が液漏れしたまま使用しない。

火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問い合わせ先」に連絡してください。



### USBケーブルについて

USBケーブルによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。

- ・ケーブルの清掃には、洗剤を使わない
- ・本機を移動する場合は、電源を切り、USBケーブルを取り外す
- ・USBプラグはコネクタにまっすぐ差し込む
- ・一度曲がってしまったUSBプラグは使わない
- ・コネクタ内部に液体や異物が入らないように注意する




### お手入れについて



お手入れの際は、電源を切ってUSBケーブルを外す。  
感電の原因となることがあります。  
また、ケーブルが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。

## 注意



### コネクタ部への接続

-  コネクタ部に、指定品以外は接続しない。  
火災・感電の原因となることがあります。

### ヘッドホンについて

-  ヘッドホンを差し込んだまま、ぶらさげない。  
落下によるけがの原因となることがあります。


### 音量について

-  ヘッドホンを使うときは音量に注意する。  
大音量で聞くと難聴の原因となることがあります。
-  大きな音量で長時間使わない。  
設定によっては、聴力障害の原因となることがあります。  
特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。


### ストラップについて

-  市販のストラップを本機に取り付けた場合、ストラップを持って振り回さない。  
けがの原因となることがあります。


### 大切なデータは控えをとる

-  本機に記憶させた内容は、専用スマートフォンアプリを使用して定期的にバックアップを保管する。  
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

### 健康上の注意

-  ごくまれに、強い光の刺激や光の点滅を受けることで、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。
  - このような症状のある方がお使いになる場合は、事前に必ず医師と相談してください
  - 本機を使用する場合には、明るい部屋で使用してください
  - 使用中にこのような症状がおきた場合には、すぐに使用を中止して、医師の診察を受けてください

### その他・製品の取り扱いについて

-  本機の隙間に手や指を入れない。  
けがや、本機の故障・破損の原因となることがあります。

# 使用上のご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されています。データが正常に保持できなくなったり、故障の原因になったりしますので、次のことに注意してください。
  - 落としたり、重いものを乗せたり、強くぶついたり、圧力をかけたりしないでください。故障の原因となります。また、硬いものと一緒にカバンに入れないようご注意ください。
  - ボールペンなど尖ったものでボタンやパッドを操作しないでください。
  - 表示部に強い力を加えたり、ボールペンなど尖ったもので突いたりしないでください。画面はガラスでできていますので、傷ついたり、割れたりすることがあります。
  - 分解しないでください。分解により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。
  - 静電気が発生しやすい場所では使わないでください。
- 本書に記載されていない使用方法で接続等しないでください。
- DATA端子に接続するには付属のUSB Type-C™ケーブルをご使用ください。
- 本機のMAIN VOLはヘッドホンとスピーカー共用になります。スライダーが同じ位置でも実際の音量レベルは異なりますので、電源を入れる前やヘッドホンを接続する前は、本機のMAIN VOLを最小にしてください。特にスピーカーからヘッドホンに切り替える際はご注意ください。聴覚保護のため、音量を徐々に上げてください。
- 録音中に電源が切れると、録音途中のデータが消失する場合があります。長時間録音時はUSB-ACアダプターを使用してください。電池使用の場合は録音前に電池残量を確認してください。
- 音源を再生していない時や、接続方法・環境によって、スピーカーおよびヘッドホンから微細な「サー」「ジー」といったノイズが聞こえる場合があります。このノイズは製品の故障ではなく、電子回路の特性上発生するものです。
- 電源を入れる際に「パチッ」「ブツッ」「パチッ」といった突発的な衝撃音が発生する場合があります。ヘッドホンは電源を入れてから装着してください。
- 内蔵マイクは近距離收音設計のため、音源をマイクに近づけてご使用ください。また、重要な録音をする場合は、事前に試し録りを行い、マイクとの距離や周囲の騒音などを確認することをおすすめします。
- 本機には、表示の焼き付き防止のためスクリーンセイバー機能が搭載されています（オートパワーオフ機能とは異なります）。操作をせずに約30分経過すると、自動的に表示がオフになります。ボタン操作やパッド操作で復帰することができます。

## 使用環境について

- 使用温度範囲：0°C～40°C
- 次のような場所には置かないでください。
  - 使用温度範囲を超える極端に暑い場所、寒い場所
  - 直射日光の当たる場所、湿度やホコリ、砂の多い場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所
- 使用または保管するときに強い電磁気/放射線または磁場を発生する機器に近づけないようにしてください。
- 小さなお子様の手の届かないところでご使用ください。
- 防水仕様ではありません。濡れた手で触ったり、水に濡らしたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。汚れたときは、乾いた柔らかい布でおふきください。布で強く擦ると表示部に傷がつく恐れがあります。特に汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し固くしぼってから軽くふき取り、乾いた柔らかい布で軽くふいて仕上げてください。なお、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性溶剤は使用しないでください。ボタンやパッドの上の文字が消える恐れや、ケースにシミを付けてしまう恐れがあります。除菌のときは、ノンアルコールの除菌シートで2～3回ふき取りをした後、乾いた柔らかい布で軽くふいて仕上げてください。
- 薬品類にご注意ください。シンナー、ガソリン（ベンジン）、灯油、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、アルコール（アルコールタイプの除菌シートを含む）、接着剤、塗料、薬剤、虫よけスプレー、日焼け止めクリーム、化粧品類、アルカリ洗剤、ワックス、油脂を含む食品（インスタントラーメンや豚汁を含む食品スープなど）等が付着すると、樹脂ケースに変色、変質、塗装剥がれ、ひび割れを生ずることがありますので、ご注意ください。
- 磁気カードに近づけないでください。クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカードなどの磁気を帯びたものを本機に極端に近づけないでください。本機は磁気を帯びた部品を使用しているため、磁気カードが使用できなくなることがあります。

## LEDについて

LEDの輝度や色味が個体差が生じる場合がありますが、これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

## ストラップ(市販品について)

ストラップ取り付け後、ストラップと本機が確実に固定されていることを確認してください。

## 接続について

- ・外部機器を接続するときは本機およびすべての外部機器の電源を切ってください。
- ・接続した後は本機と外部機器の音量設定を小さめに絞り、本機、外部機器の順で電源を入れてください。
- ・外部機器に接続した際、音が歪んで聞こえる場合は、本機の音量を下げてください。
- ・PHONE端子には、3.5mmステレオミニプラグ(3極)のみを使用してください。
- ・LINE OUT端子に外部スピーカー等を接続しても、本機のスピーカーから音源が出力されます。本機スピーカーからの音源を聞こえなくするには、本機のMAIN VOLを最小にしてください。

## USB給電に関するご注意


本機の電源には、別売のUSB-ACアダプター(AD-XA06J Type-C)または市販のUSB-ACアダプターをご使用ください。

市販のUSB-ACアダプターを使用する場合は、USB規格に適合した、出力DC5V・1A以上の製品をご使用ください。また市販のUSB-ACアダプターに使用するUSBケーブルは、USB2.0規格に適合した長さ1m以下の製品をご使用ください。

- ・本機にUSBケーブルを接続するときは、必ず本機の電源を切った状態で接続してください。
- ・本機に電池がセットされた状態でPOWER/DATA端子にUSB-ACアダプターを接続すると、USB給電が優先されません。
- ・本機を使用しないときは、USBケーブルを抜いてください。
- ・別売のUSB-ACアダプターをご使用になるときは、USB-ACアダプターに付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・USBケーブルが抜けると、電池が入っている場合でも電源が切れ録音中のデータや設定が消える場合があります。ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- ・スマートフォンをPOWER/DATA端子に接続すると、スマートフォン側から本機へ給電される場合があります(給電されない場合もあります)。スマートフォンからの給電を行わず通信したい場合は、スマートフォンをDATA端子に、USB-ACアダプターをPOWER/DATA端子に接続してください。

## 電池について

- 本機は市販の単4形充電池ニッケル水素電池eneloop（以下、eneloop）または単4形アルカリ乾電池もご使用いただけます。  
指定以外の電池を本機に使用しないでください。電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となったりすることがあります。
- ※電池での連続使用時間の目安は、eneloop使用時で約2時間です。アルカリ乾電池使用時や使用状況によっては、1時間もしくはそれ以下になることがあります。  
長時間の演奏や操作を行う場合は、USB-ACアダプターによる給電をおすすめします。
- 使用中に電池が外れてしまうと、録音中のデータや設定などの情報が消えてしまう場合があります。電池ボタンを確実にセットしてお使いください。
- eneloop、充電器およびアルカリ乾電池は商品に付属しておりません。eneloop、充電器およびアルカリ乾電池は販売店などで買い求めください。
- eneloopを使用するときは、次のことに注意してください。
  - eneloopの充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。
  - eneloopを本機にセットしたままでは充電できません。
  - eneloopおよび専用の充電器を使用する場合は、各製品に付属の取扱説明書や注意書きをよくお読みの上、正しくお使いください。
- ご使用方法によっては、電池寿命が著しく短くなることがあります。特にLEDの輝度を高く設定したり、音量を最大にしてスピーカーで再生したりすると、電池の消耗が早くなりますので、ご注意ください。  
また低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「REPLACE THE BATTERY」と表示されやすくなります。その場合は、USB-ACアダプターによる給電をおすすめします。
- 音源の再生・録音中や使用状況（電池残量や環境など）によっては「REPLACE THE BATTERY」と表示されずに電源が切れる場合や、画面に「REPLACE THE BATTERY」と表示された直後に電源が切れる場合があります。特に録音中の場合は録音データが消失する可能性がありますのでご注意ください。

 オートパワーオフをオフに設定すると自動で電源が切れなくなりますので電力を消費し続けます。

### 電池に関する注意

- **爆発、または可燃性の液体もしくはガスの漏出をもたらし可能性があるため、次のことは避けてください。**
  - ・本機で指定されていない電池への交換
  - ・火中または焼却炉への廃棄、機械的な押し潰しまたは切断
  - ・使用、保管または輸送中に受ける過度の高温または低温
  - ・使用、保管または輸送中に受ける過度の低い気圧

## 電池の交換について

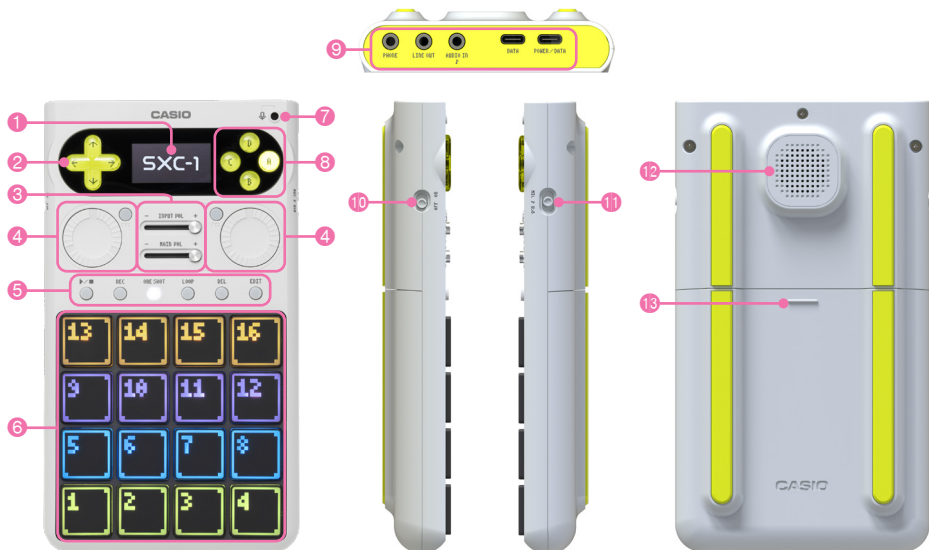
- 画面に「REPLACE THE BATTERY」と表示されたときは、早めに電池を交換してください。表示されなくても、1か月には必ず電池交換をしてください。
- 特に消耗したeneloopやアルカリ乾電池を本機に入れたままにすると、eneloopを劣化させたりアルカリ乾電池が漏液する恐れがあるので、すぐに取り出してください。
- 電池が消耗したまま本機の使用を続けると、突然電源が切れることがあります。本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。
  - 必ず、電源を切ってから電池を交換してください。電源を切らずに電池を交換すると、設定などの情報が消える場合があります。
  - 交換の際は、必ず4本とも満充電にしたeneloop、または新品のアルカリ乾電池に交換してください。指定以外の電池を使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用したりすると、電池寿命が著しく短くなったり、誤動作を起こしたりすることがあります。
  - eneloopに交換したときは、電池設定（BATTERY Type）を「BAT-e」にしてください（電池設定はp.55をご参照ください）。  
画面に「REPLACE THE BATTERY」が表示された後に電源が切れた場合、電源スイッチを一度「OFF→ON」とすることで使用できます。
- 大切なデータは控えをとってください。  
本機に記憶した重要な内容はバックアップを取ってください。本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります（バックアップの設定はp.60をご参照ください）。

### ■ オートパワーオフ

本機は一定時間操作が行われない場合に自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」を搭載しています。

- ・設定時間  
初期設定：20分
- ・電源の復帰方法  
オートパワーオフが作動した場合は、電源スイッチを一度「OFF→ON」とすることで使用できます。
- ・注意  
オートパワーオフ設定が「OFF」の状態では電力を消費し続けるため、ご注意ください（オートパワーオフ機能の設定はp.55をご参照ください）。

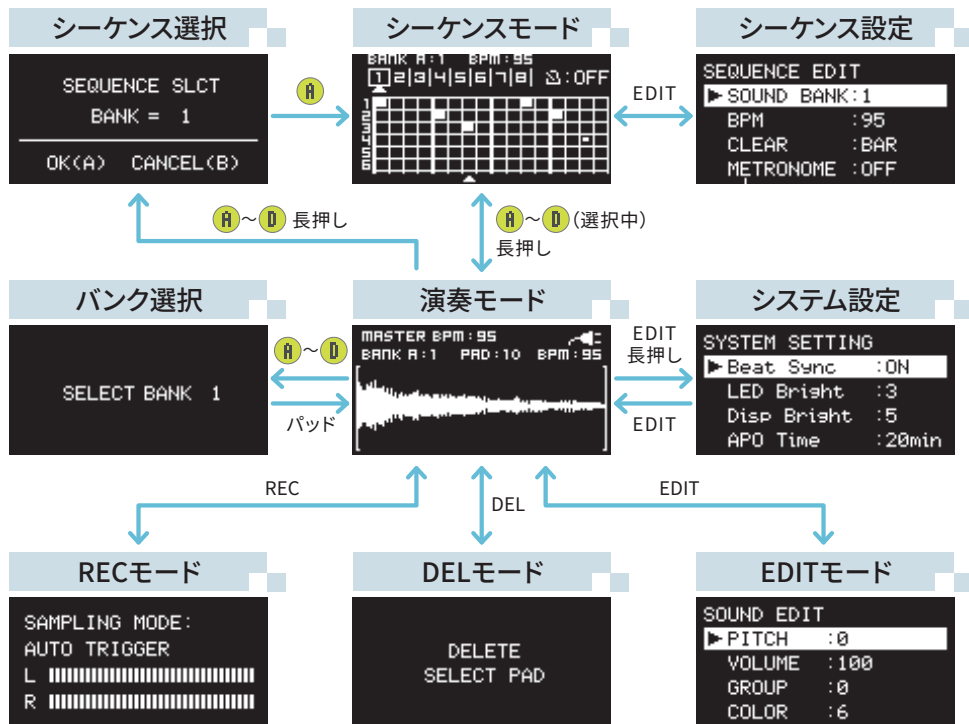
# 各部の名称



No.	項目	内容
1	表示部 (OLEDディスプレイ)	波形や設定など様々な情報を表示します。
2	十字ボタン	メニューの選択や数値の変更などに使用します。
3	スライダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ INPUT VOL：録音の入力レベルを調整します。</li> <li>・ MAIN VOL：内蔵スピーカーやヘッドホンの音量を調整します。</li> </ul>
4	FX1ボタン / ダイヤル FX2ボタン / ダイヤル	音にエフェクトをかけるときや、波形を編集するときに使用します。ボタンでON/OFF、ダイヤルでエフェクトの選択・パラメータの変更ができます。
5	機能ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ / ■：再生・停止</li> <li>REC：録音(サンプリング)開始/停止</li> <li>ONE SHOT：全音再生の切り替え</li> <li>LOOP：ループ再生の切り替え</li> <li>DEL：音源削除</li> <li>EDIT：編集モード切り替え(パラメーター・波形編集)</li> </ul>
6	パッド部	音源を再生・録音・編集するときに使用します。各パッドには音源が割り当てられており、パッドを押すことで再生できます。
7	内蔵マイク	本機単体で録音する場合に使用します。
8	バンク選択ボタン (B / B / C / D)	演奏時に音色バンクやシーケンスを切り替えるときに使用します。
9	コネクター部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PHONE端子</li> <li>・ LINE OUT端子</li> <li>・ AUDIO IN端子</li> <li>・ DATA端子</li> <li>・ POWER/DATA端子</li> </ul>	ヘッドホンを接続します(3.5mmステレオミニ)。ミキサーやスピーカーに接続して音源を出力します(3.5mmステレオミニ)。外部機器を接続して音源を入力します(3.5mmステレオミニ)。スマートフォンとのデータ通信(MIDI/オーディオ転送)用のUSB端子です。電源供給とスマートフォンとのデータ通信(MIDI/オーディオ転送)用のUSB端子です。
10	電源スイッチ	本機の電源をON/OFFします。
11	INPUT SELECTスイッチ	録音する入力ソースを切り替えます。 MIC：内蔵マイク / A：AUDIO IN端子 / USB：USB端子
12	内蔵スピーカー	本機単体で再生する場合に使用します。
13	電池ブタ	電池を入れるときは電池ブタを外します。

# 操作一覧

本機の機能一覧は下記の通りです。各機能の説明は対応のページをご参照ください。



機能	内容	参照先
演奏モード	演奏をする通常モードです。	p.15
バンク選択	<b>A</b> ~ <b>D</b> ボタンを短押しした後に、十字ボタンで <b>A</b> ~ <b>D</b> それぞれのボタンに登録するバンクを選択します。	p.16
シーケンス選択	<b>A</b> ~ <b>D</b> ボタンを長押しした後に、十字ボタンで <b>A</b> ~ <b>D</b> それぞれのボタンに登録するシーケンスを選択します。	p.36
シーケンスモード	十字ボタン、 <b>A</b> / <b>B</b> ボタン、パッドを使って最大8小節のパターンを作成します。作成したパターンは演奏モードから再生できます。	p.36
シーケンス設定	シーケンスに使用するバンクや、BPMなどの設定を変更します。	p.44
RECモード	内蔵マイクやUSBケーブルなどを使って外から音を取り込みます。	p.29
DELモード	パッドに登録した音を削除します。	p.32
EDITモード	パッドに登録した音の音程や再生タイミングを変更します。	p.44
エフェクト機能	再生中の音に対して様々な変化を加えます。	p.24
システム設定	サンプラー全体に関わる設定を変更します。	p.55

## 音を出す前の準備



USB Type-Cケーブル (POWER / DATA端子に接続)

コンセントに繋いで使用する

付属のUSBケーブルを  
市販のUSB-ACアダプターに接続  
または別売のUSB-ACアダプター  
(AD-XA06J Type-C)で接続



本機裏面突起部



電池で使用する

本機裏面の電池ボタの  
突起部(“-”形状)を押しなが  
らスライドして外し、eneloopまたは単4形  
アルカリ乾電池×4本を装着

※ ⊕ ⊖ の向きにご注意ください

- 市販のUSB-ACアダプターを使用する場合は、USB規格に適合した、出力DC5V・1A以上の製品をご使用ください。その際は、付属のUSBケーブルまたはUSB2.0規格に適合した長さ1m以下のケーブルをご使用ください。
- 電池での連続使用時間の目安は、eneloop使用時で約2時間です。アルカリ乾電池使用時や使用状況によっては、1時間またはそれ以下になることがあります。長時間使用する場合は、USB-ACアダプターによる給電をおすすめします。
- 電源を入れた状態で一定時間操作しないと、自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。電源スイッチを一度OFF→ONにすることで復帰します。電源が切れるまでの時間はシステム設定(p.55参照)で設定できます。

## 音の出し方について

ヘッドホンなど

アクティブスピーカー / 外部ミキサーなど



本機裏面のスピーカーから音を出すこともできます (PHONE端子にヘッドホンなどが接続されているときは音は出ません)。



PART

1

## パッドプレイ編

# 指からビートが溢れ出す！ フィンガードラムに挑戦

- 光る色をカスタマイズできる16個のパッド
- 幅広いジャンルのプリセットサウンド
- ループ音源とワンショット音源を駆使して演奏



# ループ音源にあわせてフィンガードラム

SXC-1には、パッド演奏をすぐに楽しめるサウンドがたくさん入っています。  
フィンガードラム体験にオススメの音を選ぶところから始めましょう。

## まずは BANK1 を選ぼう

本機では、16個のパッドに割り当てた音源のセットを「BANK(バンク)」と呼びます。  
演奏モードでBANK1の音を選ぶ手順を説明します。

1



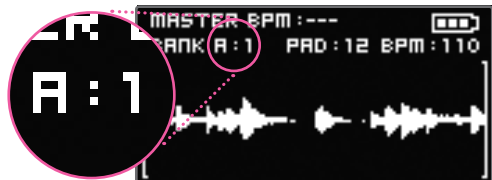
電源を入れると、「SXC-1」の  
ロゴが表示。



ロゴが消えると「演奏モード」が起動。

2

表示の○で囲んだところの  
数字が1なら、p.17の  
パッドを叩いて音を出そう  
に進みます



表示の○で囲んだところの数字が1以外で、

Ⓑ～Ⓓ ボタンが点灯していたら、

Ⓐ ボタンを押します。

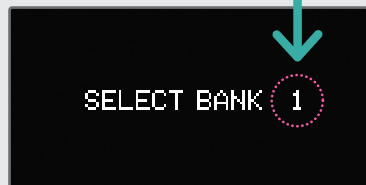
「SELECT BANK 1」と表示されたら、p.17の

パッドを叩いて音を出そう に進みます。

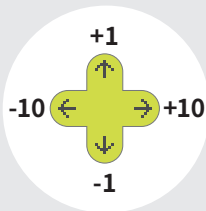


Ⓐ～Ⓓ ボタンのどれが点灯しているか、  
どのパッドが何色に光っているかは、  
最後に電源を切ったときの状態で  
決まります。

「SELECT BANK」が1以外なら、十字ボタンで番号を変更。



↑ ↓ ボタンで「SELECT BANK」の番号が1つずつ増減し、← → ボタンで10ずつ増減します。



「SELECT BANK1」と表示されたら、次ページに進みます。



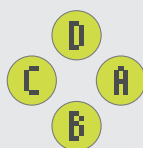
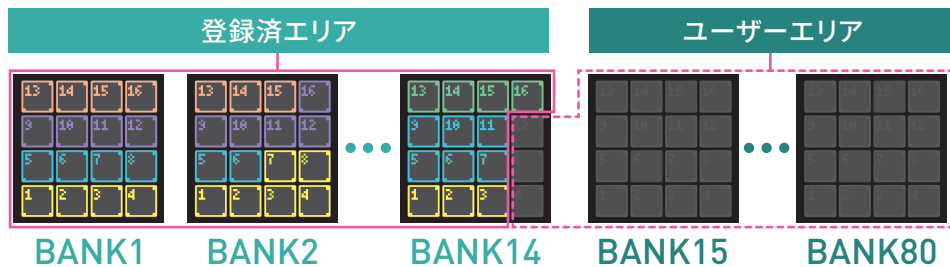
専用アプリを使うと、バンクに名前をつけてわかりやすく管理するなど、より便利に使うことができます。(PART 4 p.60参照)

## SXC-1の「バンク」について

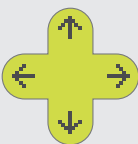
BANK1～14には、あらかじめさまざまな音が登録(プリセット)されているので、すぐにパッドを叩いて演奏することができます。BANK15以降は、自分で音を登録するユーザーエリアです。バンクは最大80まで作ることができます。

システム設定(PART 4 p.55参照)の「Initialize」を実行すると、出荷時の状態に戻ります。

※自分で登録した音は消去されますので、ご注意ください。



バンクの切り替えはA～Dボタンで行います。初期設定ではBANK1～4が登録されています。



A～Dボタンを押した後、十字ボタンを押すことで、A～Dボタンに登録するバンクを変更できます。

## パッドを叩いて音を出そう

SXC-1のプリセットバンクは、リズム系・ベース系・コード系など、楽曲の演奏や制作に必要な音が1つのバンクに登録されています。

BANK1では、16個のパッドに以下の音が割り当てられています。

ドラムと  
パーカッションの  
リズム

ループ音源

ベースのフレーズ  
ループ音源

キーボードの  
コード弾き

ワンショット音源

バスドラム(キック)

ワンショット音源

13・14 から  
ドラムを抜いた  
リズム

ループ音源

ピアノのフレーズ  
ループ音源



効果音

ワンショット音源

ハイハット

ワンショット音源

スネアドラム

ワンショット音源



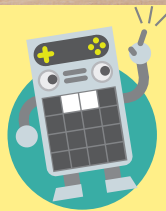
叩いたパッドは白く点灯  
します。音が鳴り終わると  
元の色に戻ります。



## 実際にパッドを叩いて音を聞いてみよう!

**ワンショット音源** : 単発の音が一度だけ鳴るよ。

**ループ音源** : 一度叩くと音がループする(繰り返す)。  
同じパッドをもう一度叩くと止まるよ。

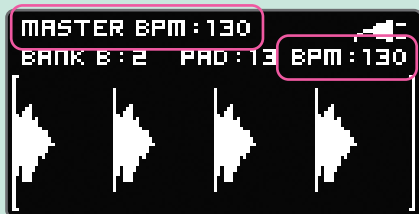


## SXC-1のBeat Sync機能について

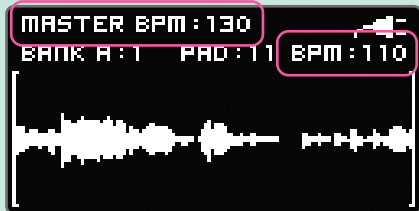
複数のループ音源を重ねたとき、自然に聴こえるように再生する機能です。初期設定ではOFFになっており、システム設定(PART 4 p.55参照)でONにして使用します。

## タイムストレッチ

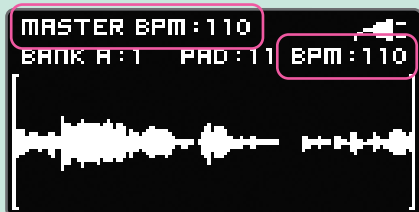
BPMが設定されている音源を再生しながら異なるBPMの音源を鳴らすと、**先に鳴っている音源のテンポに合わせて**再生されます。音程のある音源の場合、音程は変わらずテンポだけが変わります。



BPMが設定されたパッドを叩いたときの表示。右上のBPMが音源のテンポ情報で、同じ数値が上部のMASTER BPMにも表示されます。



MASTER BPMが設定された状態で他の音源を鳴らすと、元のテンポに関係なく、MASTER BPMのテンポで再生されます。



演奏を停止するとMASTER BPMがリセットされます。あとから鳴らした音源をもう一度再生すると、MASTER BPMは右上のBPMの値に変わり、そのテンポで再生されます。

## クオンタイズ

あるループ音源を再生しながら別のループ音源を鳴らすとき、パッドを叩くタイミングのわずかなズレを自動で補正し、ループ音源の頭を正確に揃えて再生します。



### 3 参考にするリズムを聴く



パッド **13** を叩いて、ドラム+パーカッションのリズムを聴きましょう。

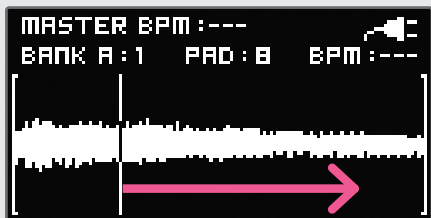
### 4 パーカッションのループに合わせてフィンガードラム!



次にパッド **15** を叩くと、ドラム抜きのリズムに変わります。



先ほど聴いたリズムをイメージしながら、パッド **1** と **2** を叩いてドラムを重ねてみましょう。



パッドを叩くと、その音の「波形」が表示されます。音が鳴るのに合わせて、波形の上をタテの線が左から右へ移動します。

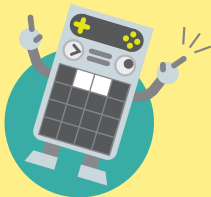
### 音を視覚化する「波形」

パッドを叩くと表示されるのが「波形」。音が目に見えるようにグラフにしたものです。プロのレコーディングに使われるシステムでも、この波形表示が活用されています。



## リズムに合わせてパッドを叩いてみよう!

ドラムは、パッド13で聴いたフレーズと同じじゃなくてもOK。パーカッションのリズムに合わせて、自由にパッドを叩くことを楽しんでね!





パッドを叩いてベースを重ねる!

## 5 さらにベースも重ねてフィンガードラム!

パーカッションのループを鳴らしたまま、リズムの頭にタイミングを合わせてパッド **9** を叩くと、パーカッション+ベースのループになります。

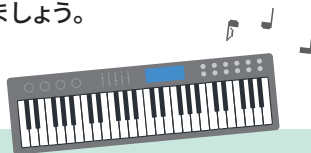
それを聴きながら、先ほどと同じようにドラムを重ねてみましょう。Beat Sync がONになっていると、タイミングが少しずれても補正してくれます。

ベースが加わったことで、さらにバンドっぽい気分になります!



## 6 キーボーディストの気分で「演奏」しよう

パッド **13** とパッド **9** でリズム+ベースのループを再生しながら、パッド **5** ~ **8** を順に叩いてキーボードの音を重ねてみましょう。




パッドをリズムカルに叩き分けてコードの響きを切り替えるだけでキーボーディストのような気分を味わえます!

### 1 リズム+ベースのループを再生



### 2 キーボードの音を重ねる

## ループ音源の再生を止めるには

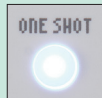
鳴っているパッドをもう一度押すだけでなく、 ボタンでも音を止められます。複数のループを一度に止めるにはこの方法を使います。

## ONE SHOTボタン / LOOPボタンの働き

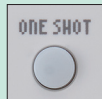


### ONE SHOT ボタン

**ONの場合** パッドを叩くと最後まで再生。終わる前に再度叩くと、最初から再生が始まります。

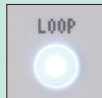


**OFFの場合** パッドを押している間だけ再生され、指を離すと停止。再度叩くと、最初から再生が始まります。



### LOOP ボタン

**ONの場合** パッドを叩くと繰り返し再生。パッドを再度叩くか、再生/停止ボタンを押すと止まります。



**OFFの場合** パッドを叩くと最後まで再生されて止まります。



これらのボタンで「単発で鳴らす音＝ワンショット音源」「繰り返し鳴らす音＝ループ音源」を設定します。設定はパッドごとにそのまま記憶されます。

プリセットされた音源は、あらかじめそれぞれの内容に合わせた設定になっています。

それぞれのボタンの状態と音の鳴り方は、以下ようになります。



ONE SHOTボタンとLOOPボタンをうまく使うと、長い音の余韻を途中で切ってパーカッシブに鳴らしたり、短い音をループさせるなど、より踏み込んだ鳴らし方ができます。

複数の音の重なりと切り替わりについて

音が鳴っている間に別のパッドを叩いたときの鳴り方は2通りあります。これはパッドのグループ化によって決まります。(PART 4 p.48参照)

例 BANK1の場合

グループ化されたパッド

後から叩いたパッドの音に変わる

リズムのパッド **13** を叩いた後、リズムのパッド **14** を叩くと、**14** のリズムに変わります。

別のグループ、またはグループ化されていないパッド

後から叩いたパッドの音が重なる

ベースのパッド **9** を叩いた後、ピアノのパッド **11** を叩くと、ベース **9** の音とピアノ **11** の音が重なります。



パッドのグループと点灯色はそれぞれ設定できます。(PART 4 p.48~49参照) わかりやすい色にしておくといでしょう。



7

別のバンクの音を重ねてみる

BANK2のループを鳴らしながら、BANK1のワンショット音源を重ねてみましょう。



SELECT BANK 2

**B** でBANK2を選び、パッド **16** でシンセのフレーズを鳴らします。  
(BANK2が選ばれないときは **B** を押してから十字ボタンで選択) さらに、パッド **9** で別のシンセのフレーズを重ねます。

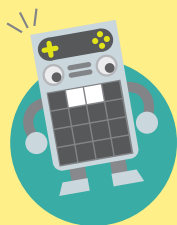
SELECT BANK 1

**H** でBANK1を選び、パッド **9** を叩くとベースのフレーズが重なります。それに合わせて、パッド **1** と **2** でキックとスネアをプレイしてみましょう。



※ベースのフレーズは、p.20でパッドを叩いたときよりも速いテンポで再生されます。  
(p.18「タイムストレッチ」参照)

再生中に十字ボタンでバンクを切り替えると音が途切れます。  
使用するバンクはあらかじめ **H** ~ **D** ボタンにセットしておきましょう。



パッドでうまく音を鳴らすには

パッドの叩き方は人それぞれ。押し込むように叩いたり、叩いた瞬間に指を離すなど、叩いた感触と音の鳴り方を確かめながら、いろいろなやり方を試してみてね。

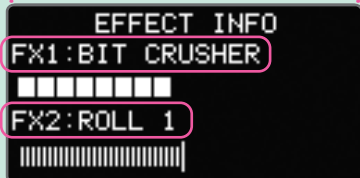


## エフェクトで音を変化させてみよう

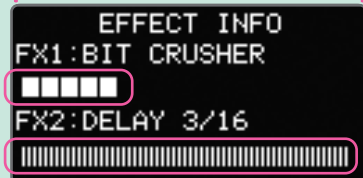
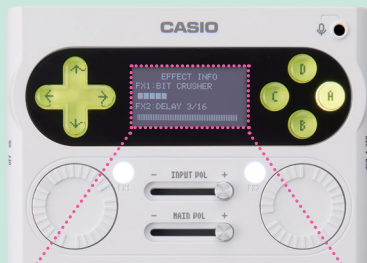


SXC-1は、音を変化させる「エフェクト」を搭載しています。**FX1**と**FX2**の2系統が用意され、1つまたは2つを同時にかけることができます。

**FX1**または**FX2**のボタンが消灯している状態でダイヤルを回すと、エフェクトの種類を選択できます。



**FX1**または**FX2**のボタンを押して点灯させ、ダイヤルを回すとエフェクトのかけ具合が変化します。

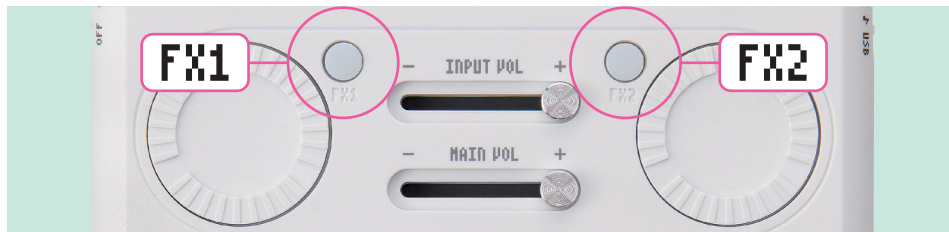


## エフェクトを効果的に使おう！

複数のパッドを叩いて音が重なっているときは、鳴っている音全体に対してエフェクトがかかるよ。エフェクトを選択したあとで叩いたパッドの音にもエフェクトがかかるよ。

## エフェクト解説

**FX1**、**FX2** それぞれに用意されたエフェクトと、ダイヤルで変化する内容は以下の通りです。



## FX1

## ■ FILTER (フィルター)

音をこもらせたり、軽くしたりするエフェクトです。カットオフ周波数、レゾナンス、フィルタータイプが複合的に変化します。

## ■ FLANGER (フランジャー)

音に金属的なうねりを加えるエフェクトです。デプス、レート、フィードバック、ミックスが複合的に変化します。

## ■ PHASER (フェイザー)

こちらも音にうねりを加えるエフェクトですが、フランジャーとは変化の仕方が違います。ステージ数、レート、デプス、フィードバック、ミックスが複合的に変化します。

■ BIT CRUSHER  
(ビットクラッシャー)

音にデジタルノイズを加えて歪ませます。ビット深度、サンプルレート、ドライ/ウェットが複合的に変化します。

## FX2

## ■ ROLL 1 (ロール1)

パッドを細かく連打したような効果を与えます。

## ■ ROLL 1/2 (ロール1/2)

より細かくパッドを連打したような効果を与えます。

## ■ ROLL 1/4 (ロール1/4)

さらに細かくパッドを連打したような効果を与えます。

## ■ ROLL PATTERN (ロールパターン)

ある一定のパターンでパッドを連打したような効果を与えます。

## ■ DELAY 3/4 (ディレイ3/4)

元の音から遅れた音を加え、やまびこのような効果を与えます。

## ■ DELAY 3/16 (ディレイ3/16)

元の音からわずかに遅れた音を加え、やまびこのような効果を与えます。

FX2は、ドライ(効果0)～ウェット(効果100)まで連続可変します。



## CREATIVE

## NOTE

## 指だけでプロのドラマーさえも凌駕する!?

パッドを叩いて音を鳴らすスタイルは、楽器が弾けなくても音楽を演奏する楽しさを味わえるのが大きな魅力。中でもフィンガードラムは、

ドラマー以上の超絶プレイをこなす強者もいる

人気の分野です。そこで多く使われるのは、SXC-1

と同じ4×4列=16個のパッドを備えた機材。

本機でフィンガードラムを始めれば、将来さら

にテクニックを極める際にも役立つでしょう。



## パッドごとに叩く指を決めるのがコツ

10本の指を細かく動かすフィンガードラムは、慣れるまで難しく感じるかもしれません。まずは、キック=親指、スネア=人差し指、ハイハット=中指といったように、どの指で何を叩くかを固定し、遅いテンポから始めてみてください。キックとスネアだけ、ハイハットとスネアだけという具合に分けて練習するのもオススメです。



PART



## サンプリング編

# 自分の声が楽器になる！ ボーイパにチャレンジ

- どんな音も「楽器」として使える
- 内蔵マイクで手軽に録音
- 録った音はパッドですぐに演奏可能



# 自分の声でボイスパーカッション!

好きな音を録音して再生・編集できる「サンプリング」という機能を使って、ボイスパーカッションにチャレンジしてみましょう。

## サンプリングを始める準備

### 十字ボタンで選択



# 1

演奏モードで、録音済みの音(サンプル)が登録されていないパッドがあるバンクを選択します(左はBANK15を選んだ状態)

SELECT BANK 15

サンプルが未登録の  
パッドは光らない

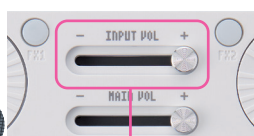
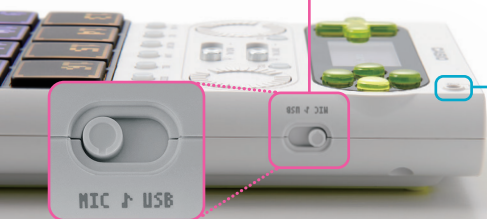
BANK14は消灯しているパッド  
にサンプリングできます。

BANK14 ▶



# 2

INPUT SELECTスイッチで「MIC」  
(内蔵マイク)を選びます



INPUT VOLは  
最大にしておきます。

本機に接続した楽器や外部機器からの録音も可能です。

AUDIO IN (♪) 端子に接続した楽器の演奏などを録音 → INPUT SELECTスイッチを **♪** に  
DATA端子に接続したスマートフォンからの再生音を録音 → INPUT SELECTスイッチを **USB** に

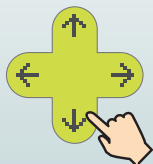


※p.08「接続について」を必ずご一読ください。

※スマートフォンとの接続は付属のUSBケーブルをご使用ください。

※接続した機器の音量と本機のINPUT VOLは、録音時にレベルメーター表示が振り切った状態にならないようそれぞれ調整してください。

## BANK15のパッドにサンプリングしてみよう



演奏モードで、  
**BANK15**を選択



ボタンを押すとサンプリング  
モードになります

このとき、表示が **AUTO TRIGGER** になっている事を確認してください。  
(十字ボタンの ← → で選択)



**AUTO TRIGGER (オートトリガー)**  
とは、音を入力すると自動的に録音  
が始まる設定のこと。他にもいくつ  
かの設定がありますが、ここではこの  
まま進みましょう。

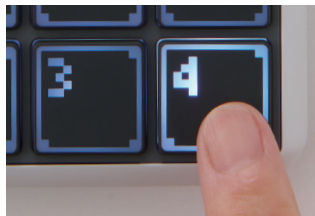
空のパッドが**点滅**



サンプルを登録したいパッドを選びます  
(ここでは**パッド 4**を選択)

手順 **3** で **MANUAL TRIGGER** を選択すると、  
パッドを選んだ時点で録音が始まります。

サンプリング開始のタイミングを自分で決めたいときはこちらを選びます。



サンプリングしてみよう



マイクに向かって声を出すと  
自動で録音が始まります

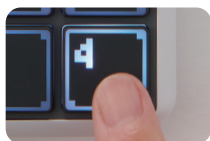
試しに  
「デン・タク!」  
と入れてみよう



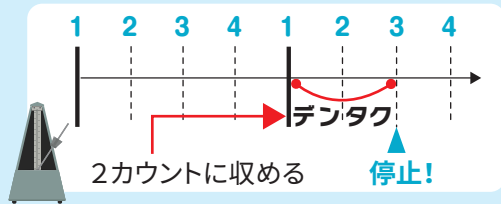
音に合わせてメーターが振れる



録音を停止するには、パッド **4** をもう一度押すか  
REC ボタンを押します



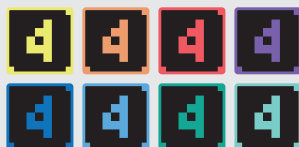
録音する前に頭の中で「1、2、3、4」とカウントしてから声を出し、タイミング良く停止すると、扱いやすいサンプルを作れます。



サンプルが登録されたパッドはイエローに光ります。  
もう一度パッド **4** を叩いて、音を確認してみましょう。

点灯色はあとから  
変更できます。

(PART 4 p.49参照)



登録したサンプルを消したいときは p.32へ

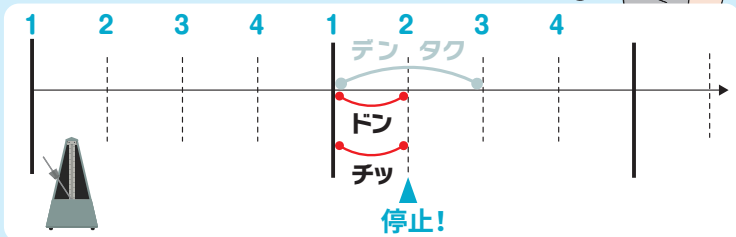


**7** もう一度 **3** に戻って、同じ要領で **8** **12** にもサンプルを登録します

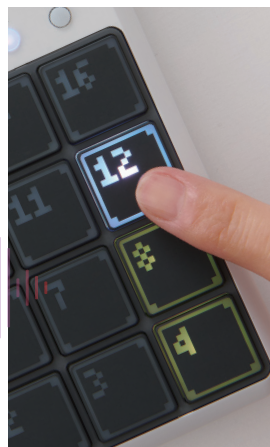
チッ!

ドン!

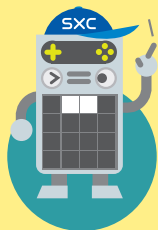
「デン・タク」は2カウントでしたが、「ドン」と「チッ」を1カウントに収めて録音しましょう。



3つのパッドでリズムパターンを演奏!



好きなフレーズを録って自由に演奏してみましょう!



色々な鳴らし方を楽しめる!

録音直後のサンプルはワンショット音源として扱われ、

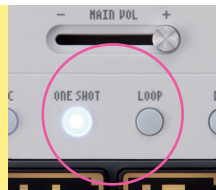


ボタン、



ボタンによって鳴らし方を

変えることができるよ!



詳しくはPART 1 p.21へ



パッドに登録したサンプルを削除するには




**1**  ボタンを押すと、サンプルが登録されているパッドが点滅します

**2** サンプルを消したいパッドを押します



パッドを選ぶと白点灯し、押したパッド以外は点滅し続けます。複数のパッドを選び、まとめて削除することもできます。



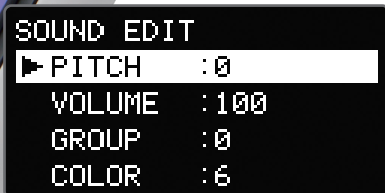
**3**  ボタンで決定するとサンプルが削除され、パッドが消灯します

消灯

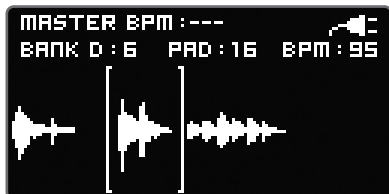
さらに楽しさがアップする、いろいろな機能

サンプルの編集

サンプルを編集する「EDIT」モードでは、音の高さや音量の変更、再生位置の調整などを行うことができます。あらかじめ登録されているプリセットサンプルも編集可能です。

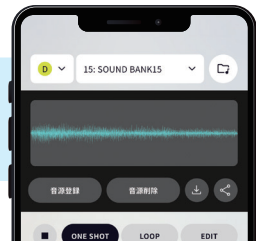


PITCH (ピッチ / 音の高さ) などを変更できるEDITモード



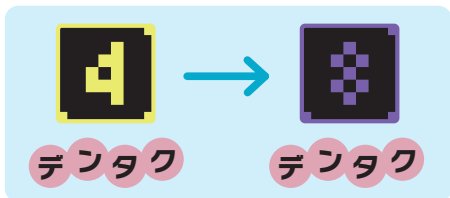
サンプルの一部を切り取って再生することも!

専用アプリを使うと、  
波形の編集がさらに便利に!



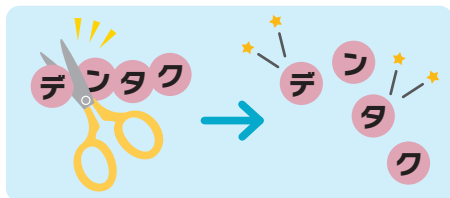
リサンプリング

パッドに登録したサンプルを別のパッドにもう一度サンプリングすること。同じサンプルをコピーしたり、その際に新しい音を加えたりエフェクトをかけたりすることで、活用の幅が広がります。



チョップ

サンプルを細かく区切って複数のパッドに振り分け、より自由に扱えるようにすること。長いフレーズをサンプリングして、拍ごとに自動で振り分けてくれる機能もあります。



詳しくはPART 4へ





# CREATIVE

## NOTE

### 音楽制作のスタイルを変えたサンプリング

既存の音を素材に音楽を作るサンプリングという手法は、1980年代に生まれました。当初はごく短い音しかサンプリングできませんでしたが、

長尺のフレーズやリズムパターンなども扱えるように

なると、ヒップホップやハウスなどで多用

され、音楽制作のプロセスも大きく変化。

その技術は電子楽器の音源にも活用されて

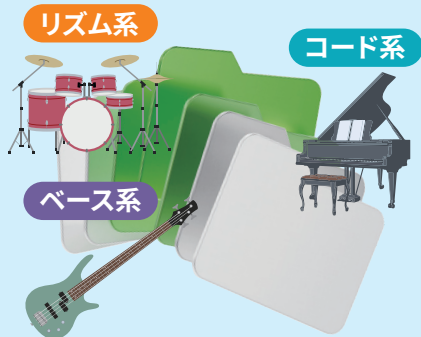
います。



### 「自分だけの音」でオリジナルのバンクを作ってみよう!

サンプリングを使いこなすためのポイントは、気になる音があればどんどん録音して、自分だけの「音のライブラリー」を増やすこと。シンプルな操作でサンプリング可能なSXC-1なら、録ったり消したりも簡単です。

プリセットバンクを参考に、1つのバンクにリズム系・ベース系・コード系などのサンプルをバランス良くまとめると、パッド演奏をする上で便利なだけでなく、PART 3で説明するシーケンサー機能を使った曲作りもやりやすくなるでしょう。



PART

## シーケンサー編

# 生み出せグルーヴ! ドラムパターン作りに挑戦

- パッドの演奏を記録できる
- 作ったパターンの編集も思いのまま
- パターンを再生しながらパッド演奏を重ねることも

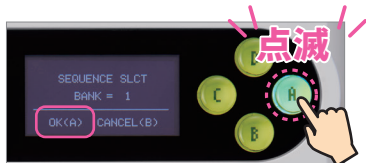


SXC-1は、サンプルを自由に並べてリズムやメロディなどを自動演奏させるシーケンサー機能も搭載。「打ち込み」という制作スタイルを手軽に体験できます。

## シーケンスを作成する「シーケンスモード」



**1** 演奏モードで  
A ~ D ボタンを長押しして  
シーケンスモードへ



**2** シーケンス選択表示で  
A ボタン「OK(A)」を選びます  
(キャンセルは B ボタンを押します)



**3** シーケンスモードが表示

点灯しているボタンを長押しすると  
演奏モードに戻ります。

### シーケンスとは？

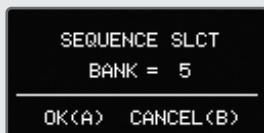
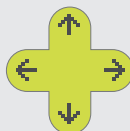
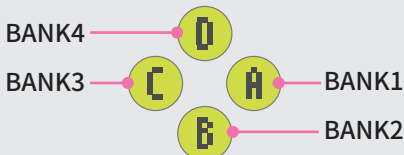
本機では、1つのバンクのサンプルで作る最大8小節の演奏パターンを「シーケンス」と呼び、最大50個のパターンを作成できます。

最大50個の  
パターン

### シーケンスの保存先＝「シーケンスバンク」

作成したパターンはシーケンスバンク1～50として保存します。初期設定では、A ~ D ボタンにシーケンスバンク1～4が登録されています。

シーケンスバンク5以降にパターンを保存するときは、シーケンス選択の際に十字ボタンを使ってバンク番号を選択。OK(A)を選択するとシーケンスモードが表示され、選択中のA ~ D ボタンに登録されます。



シーケンスバンクは専用アプリを使うと簡単に管理できます。(PART 4 p.60参照)

## シーケンスモード表示

この表示は、BANK1のサンプルを使って1小節のシーケンスを作成する状態を示しています。

## ■バンク

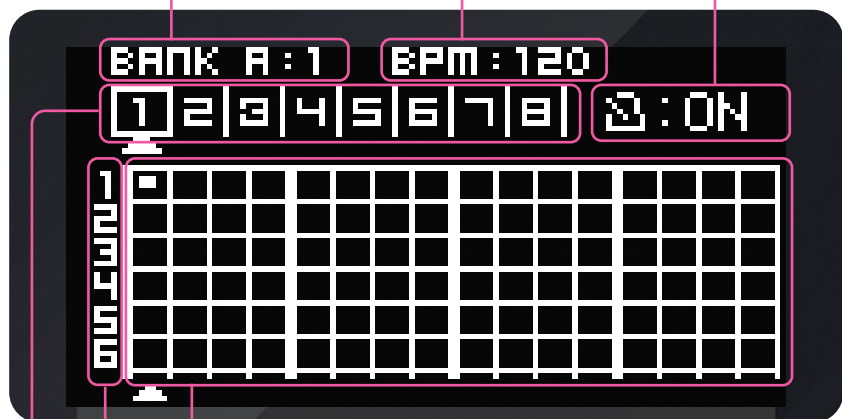
バンク選択ボタン **A** ~ **D** のどれを選んだか、どの音色バンクを鳴らすのかを示します。

## ■メトロノーム

シーケンスの記録/再生時にメトロノームを鳴らすかどうかを示します。

## ■テンポ

シーケンスのテンポを示します。



## ■パッド入力

1小節を16分割し、どのパッドのサンプルをどのタイミングで鳴らすかを示します。

## ■パッド番号

パッドの番号を示します。

パッド **7** 以降は十字ボタンでスクロールして表示します。

## ■小節数

シーケンスの小節数と、下のマスにどの小節の情報が表示されているかを示します。

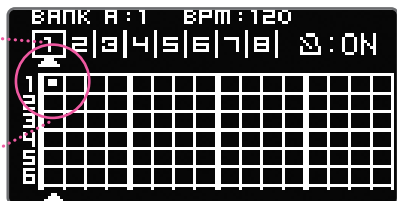


## 作成するパターンの小節数を決める

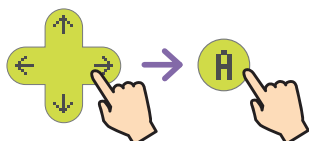
ここでは2小節のパターンを作成してみましょう。

※シーケンスモードで使用するサンプルはBANK1に設定されています。別のバンクのサンプルを使いたい場合は、EDIT機能 (p.44参照) の「SOUND BANK」で変更します。

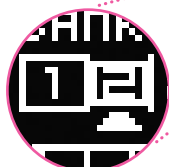
○で囲んだところに  
注目!



十字ボタンの ↑ を押すと  
カーソルが移動します。

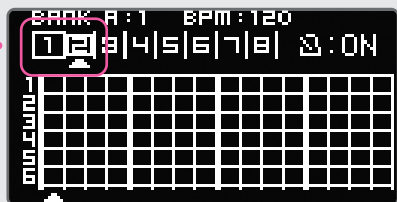


十字ボタンの → で、数字の下の  
▲を2に移動させ、H ボタンを  
押します。そして ← で一旦1に  
戻します。



これで2小節のパターンを作成する準備が整いました

B ボタンを押せば、小節数を減らすことも可能です。



## さっそくトライしてみよう

シンプルな8ビートのパターンをパッドで演奏し、シーケンスとして記録してみましょう。



カウント



キック



コッ



コッ



コッ

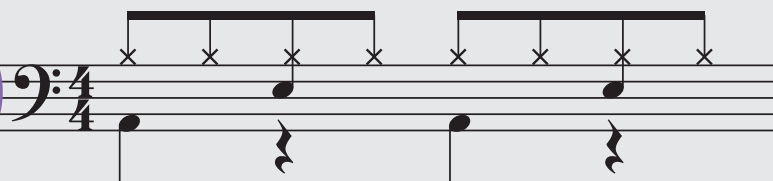
パッド1(キック)

パッド2(スネア)

パッド3(ハイハット)



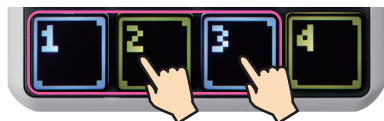
これを  
2回(2小節分)  
繰り返します



点滅



点灯している ボタンを押すと、 ボタンも一緒に点滅します。メトロノームのカウントが4回鳴ったら、演奏を始めます。テンポは初期状態でBPM=120に設定され、EDIT機能(p.44参照)の「BPM」で変更できます。

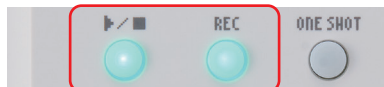


カウントに合わせて、パッド **1** ~ **3** を叩きましょう。



パッドを叩いたタイミングのマスが白く塗りつぶされていきます。2小節分叩き終わると、パッドを叩かなくてもドラムパターンの再生が続きます。

点灯



ボタンを押すと記録が終了し、ボタンは点滅から点灯に戻ります。この状態で ボタンを押すと入力結果が再生されます。

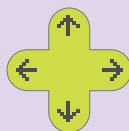
## 納得いくまで編集してみよう

音を鳴らすタイミングを調整したり、音を足したり消したりする編集を、あとから自由に行うことができます。

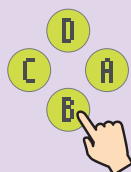
## 点灯



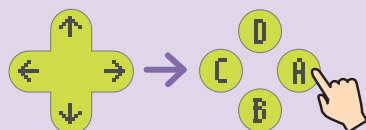
ここでは、記録 / 再生を停止した状態で編集を行います。  
(編集は記録 / 再生中にも可能です)



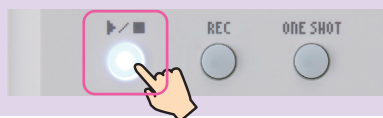
十字ボタンを使って、直したい音にカーソルを合わせます。



B ボタンを押すと、カーソルを合わせた音が消えます。



十字ボタンで正しいタイミングのマスにカーソルを合わせて A ボタンを押すと、そのタイミングに音が入ります。



ボタンでシーケンスを再生し、結果を確認してみましょう。

## クオンタイズについて



SXC-1のシーケンスモードで扱う音の最小単位は、4/4拍子の1小節を16分割した「16分音符」。パッドを叩くタイミングがこれより小さい単位で前後した場合は、最も近いタイミングに修正されるんだ。このような機能は「クオンタイズ」と呼ばれるよ。



## いろいろなドラムパターンを作ってみよう

## 例1 ダンスビート

パッド1(キック)

パッド2(スネア)

パッド3(ハイハット)



## 例2 16ビート

パッド1(キック)

パッド2(スネア)

パッド3(ハイハット)



## 例3 ハーフタイム

パッド1(キック)

パッド2(スネア)

パッド3(ハイハット)

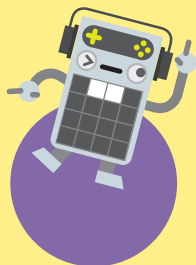


※メトロノーム音が不要な場合は、EDIT機能(p.44参照)の「METRONOME」でOFFにすることもできます。

入力・編集の方法がわかったら、8ビート以外のドラムパターンにも挑戦してみましょう。上記はあくまでも例なので、好きな曲のドラムパターンをコピーするもよし、オリジナルのビートを組み立てるもよし、気の向くままに遊んでみてください。



## 2つの入力スタイルを使い分けよう



パッドを叩いた演奏をそのまま記録するのは「リアルタイム入力」と呼ばれ、直感的なパターン作りにピッタリ。ドラムパターンのように複数のパッドを一度に演奏するのが難しいときは、パッド1つずつに分けて入力してもOKだよ。

【例】初めにハイハットだけで演奏→その音を聴きながらキックを演奏→最後にスネアを重ねて完成！

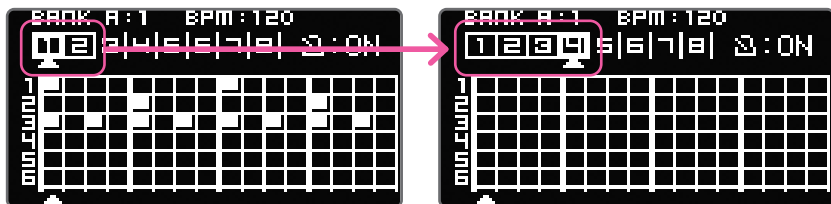
一方、p.40で説明したような1音ずつ表示上のマスを埋めて入力するやり方は「ステップ入力」と呼ばれているんだ。このように、いろいろな入力方法を駆使して複雑なパターンを作れるのもシーケンサーの楽しさの1つだね！

## ドラム以外の音も入れたパターンを作ってみよう

p.38～41で作ったドラムパターンにシンセの音を加えて、曲らしい雰囲気に見てみましょう。

1

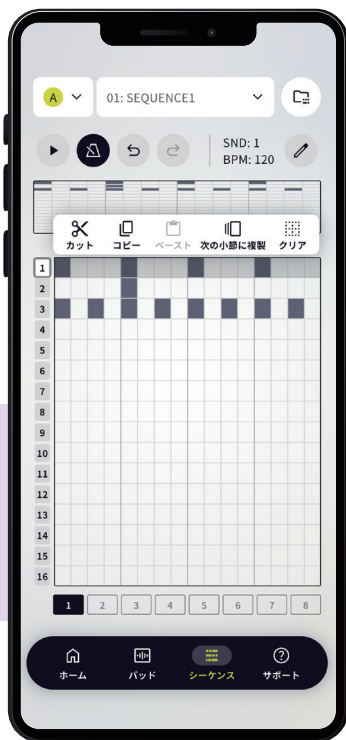
p.38と同じ要領で、小節数を4小節に変更



2



ボタンを押して、1～2小節目と同じドラムパターンを3～4小節目にも入力  
(停止した状態で「ステップ入力」してもOKです)

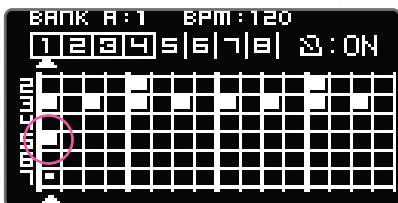


専用アプリを使うと、入力したパターンのコピー＆ペーストなど、シーケンスの作成 / 編集をより便利に行うことができます。

(PART 4 p.59参照)



**3** ドラムパターンを聴きながら、各小節のアタマで  
パッド **5**、**6**、**7**、**8** のシンセコードをリアルタイム入力



1小節目



2小節目



3小節目

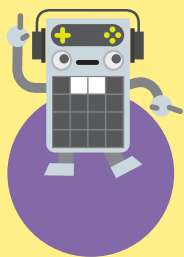


4小節目



シーケンスに組み込めるサンプルはワンショット音源のみとなりますが、シーケンスを再生しながらリアルタイム演奏する形でループ音源を重ねることが可能です。

(PART 4 p.47参照)







## 入力の前に練習したいときは

上記のように、作成したシーケンスにパッド演奏で新たな音を足すときなどはシーケンスを再生しながらしばらく練習してボタンで入力をスタートするといよいよ！



## シーケンスモードでの各種設定

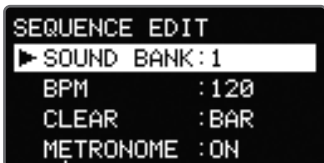
## ▶ EDIT機能で行える設定

シーケンスモードで  ボタンを押すと下のように表示され、ここでシーケンスのいろいろな設定を行うことができます。十字ボタンの  で項目を選び、 で設定します。 ボタンを再押しするとシーケンスモードに戻ります。



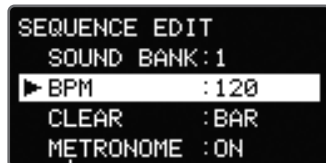
## SOUND BANK

シーケンスの作成 / 再生に使う音色バンクを設定します。



## BPM

シーケンスのテンポを変更します。



## CLEAR

音をまとめて削除できます。

## TRACK

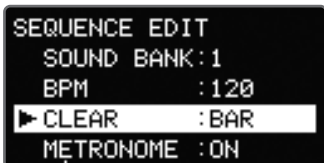
カーソルが置かれたパッドの音を1小節分削除


## BAR

カーソルが置かれた小節の音を全て削除

## ALL

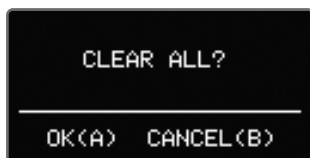
現在選ばれているシーケンスの音を全て削除



 ボタンを押すと下のように表示され、

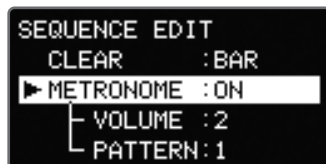
 ボタンで実行、 ボタンで

キャンセル  
されます。



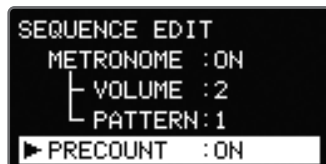
## METRONOME

シーケンスの作成 / 再生時に鳴らすメトロノームに関する設定です。メトロノームのON/OFFと、VOLUME(音量:1~3)、PATTERN(発音パターン:1または2)を設定できます。



## PRECOUNT

リアルタイム入力でシーケンスを作成するときに、予備カウント(冒頭の4カウント)を鳴らすかどうかを設定します。





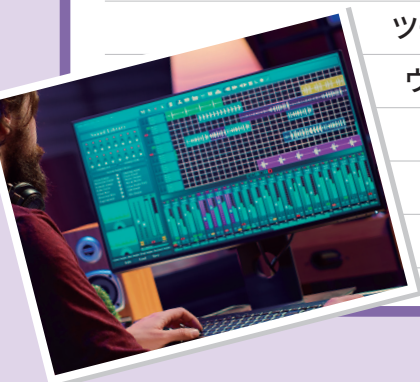
# CREATIVE

## NOTE

### 単体の機材から機能の1つに進化したシーケンサー

シンセサイザーなどを使って、リズム、ハーモニー、メロディといった音楽の各要素を1つずつ組み合わせて楽曲を作る上で欠かせない

ツールがシーケンサーです。昔は単体のハードウェア機材としての「シーケンサー」が存在していましたが、現在はDAWと呼ばれる音楽制作システムやSXC-1のような機材に搭載される機能の1つになっています。



### 曲のどの部分から作り始めてもOK!

本機のシーケンサーはごく基本的な機能に絞っており、初めてシーケンサーを使う人も悩まずに曲作りを楽しめます。サンプルを並べるだけで曲らしい形が出来上がるのも、初心者にはうれしいところ。リズムパターンから作るもよし、気持ちいいコード進行や、ふと閃いたメロディから始めるもよし、やりやすい方法で取り組んでみましょう。



PART



## スキルアップ編

# バイブスを解き放て！ SXC-1で無限の音遊びへ

- 作ったシーケンスに別のリズムや演奏を重ねる
- サンプル編集やリサンプリングで幅広い表現を
- 使い勝手をさらに高める専用アプリも



# パッド演奏とシーケンス再生を重ねてみよう

作り込んだビートを再生しながらシンセや効果音をリアルタイムで鳴らしたり、コード弾きのシーケンスに即興でリズムを重ねるなど、楽しみ方はアイデア次第!

**例えば** PART 3 p.42~【ドラム以外の音も入れたパターンを作ってみよう】で作ったシーケンス(シーケンスバンク1に登録)に、BANK2のパッド演奏を重ねてみましょう。

1

演奏モードで、リアルタイムで演奏したい音のあるバンクを選択



2

鳴らしたいシーケンスバンクが登録された A ~ D ボタンと



ボタンを同時に押すと、

シーケンスの再生がスタート



3

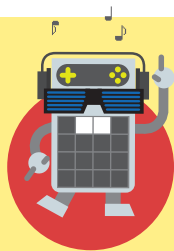
シーケンスに合わせてパッドプレイ!

BANK2には、ハンドクラップや効果音、シンセリフ、リズムループなどEDM系の多彩なサウンドが揃っています。どのパッドを叩いてもハマること間違いなし!



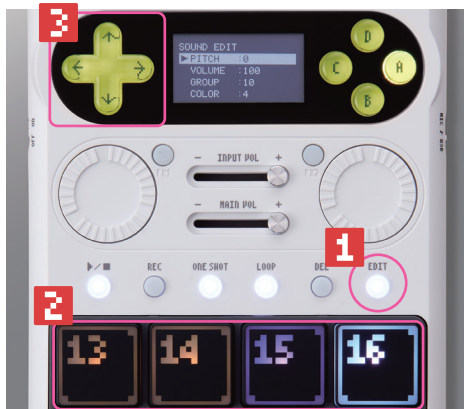
## ループ音源とシーケンスのテンポがシンクロ!

Beat SyncをONにした状態でシーケンスを再生し、BPMが設定されたループのサンプルを鳴らすと、サンプルは自動でシーケンスのテンポに合わせて鳴ってくれるよ。逆に、ループのサンプルを鳴らしてからシーケンスを再生すると、シーケンスはサンプルのテンポで再生されるんだ!








# サンプルを加工・編集してみよう

各パッドに登録されたサンプルは、そのまま使っても十分楽しいですが、SOUND EDITという項目で設定を変更したり、波形を編集したりすることで、より個性的な音にアレンジできます。



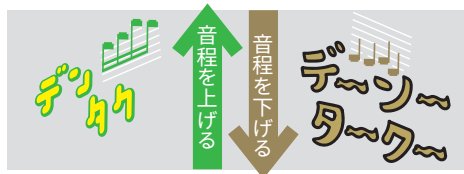
パッドごとにサンプルを編集できます。

- 1** 演奏モードで  ボタンを押す
- 2** 編集したいサンプルが登録されたパッドを叩く
- 3**   で項目を選択し、  
  で数値を変更します

## ▶ PITCH

音程を±2オクターブの範囲で半音刻みで設定※できます(±24)。

※サンプルの再生スピードも変わります。



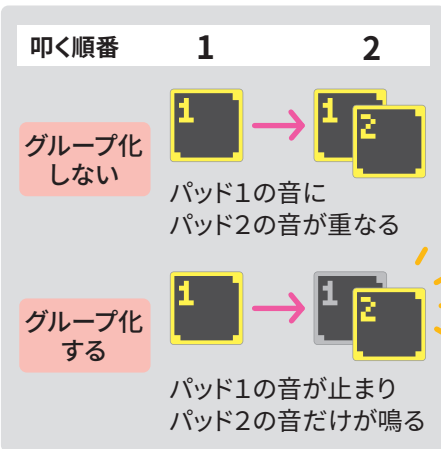
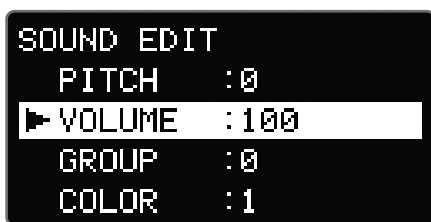
## ▶ GROUP

重ねたくない音は「グループ化」しましょう。グループ化すると、新しい音で前の音を止められます。

1~16の番号を設定すると、同じ番号のパッドがグループ化され、最後に叩いたパッドの音が優先して鳴ります(グループ化しないときは0)。グループの設定は全てのバンクで共通です。例えば、あるバンクで鳴っている音を、別のバンクの同じグループの音で止めるような使い方ができます。

## ▶ VOLUME

音量を0~100の範囲で設定できます。



▶COLOR

音の内容に合わせて色分けすると使いやすくなります。プリセットバンクを参考に見てください。

パッドの点灯色を設定します。



SOUND EDIT

PITCH : 0  
VOLUME : 100  
GROUP : 0  
▶ COLOR : 1

▶BPM

録音時にBPMが自動解析されたサンプルでは、ここに数値が表示されます。

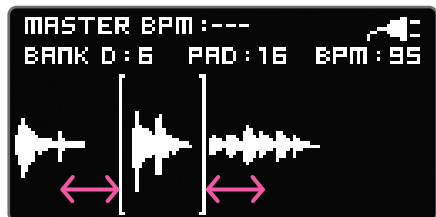
手動でも設定可能です。←を長押ししてBPMを---に設定すると、そのサンプルをBeat Syncの対象外にすることもできます。

SOUND EDIT

VOLUME : 100  
GROUP : 0  
COLOR : 1  
▶ BPM : ---

波形編集

EDITモードでダイヤルを回すと波形編集表示になり、サンプル再生の始まりと終わりを変更できます。



始点 終点



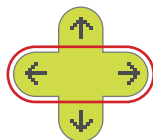
サンプルを部分的に使いたいときに役立つ機能。長いフレーズの一部を鳴らしたり、リズムパターンから単体の音を切り出すなど、使いみちは色々。パッドを叩いて音を聴きながら調整しましょう。

# リサンプリングで表現力豊かに

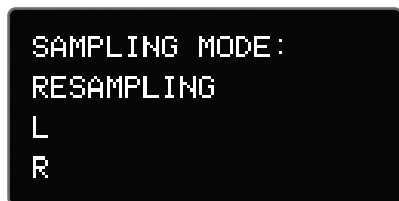
保存されたサンプルを、もう一度サンプリングすることを「リサンプリング」といいます。本機ではパッドに登録されたサンプルを、リサンプリングによって別のパッドにコピー可能。その際に新たな音を加えたり、エフェクトをかけたりすることもできます。

1

サンプリングモード(演奏モードで )で **RESAMPLING** を選択



十字ボタンで  
選択

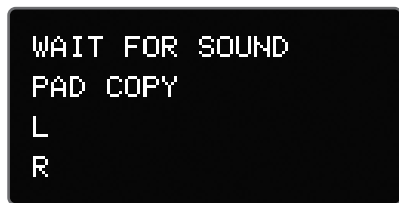


登録可能なパッドが白点滅し、  
それ以外は消灯します。

点滅

2

サンプルを登録したい空のパッドを選択



登録したいパッドを選択すると  
白点灯に変わり他のパッドは点滅します。  
(ここではパッド **13** を選択)



点灯

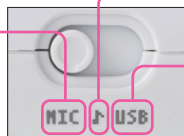
点滅

点滅

3

INPUT SELECTスイッチを設定

MIC



♪ または USB

リサンプリング時に内蔵マイク  
からの音を加えるとき

リサンプリング時に外部入力からの  
音を加えるか、何も加えないとき



## コピー元のパッドを叩くとリサンプリング開始

リサンプリング中はボタンがこのような状態になります。

### 点灯



コピー元のサンプルが鳴り終わると自動で終了し、コピー先のパッドは黄色に点灯します。



### 消灯 点灯



【例】パッド **4** の音をパッド **16** にコピーする場合

※ループ音源をコピーするときも、サンプルが1回鳴り終わると終了します。

## ■バンクをまたいだリサンプリング

コピー先のパッドを選んだら、  
コピー元の音があるバンクを  
A ~ D ボタンで選択



コピー元のパッドを叩くとリサンプリング開始  
※コピーしたい音のあるバンクを A ~ D ボタンに登録しておきましょう。

## ■新たな音を加えてリサンプリング

サンプルが鳴っている間にマイクや外部入力からの音を入力すると、コピー元のサンプルと入力音が混ざった状態でコピー先のパッドに録音されます。

## ■エフェクトをかけた音をリサンプリング

コピー元のパッドを叩くときに、PART 1 p.24の要領でエフェクトをかけるとエフェクトがかかった状態でコピー先のパッドに録音されます。

※新たに加えた音 (AUDIO INまたはUSB) にもエフェクトがかかります。



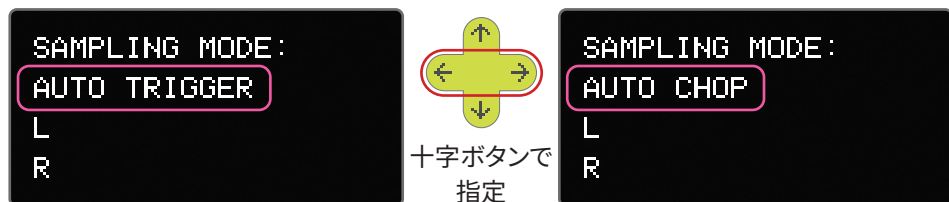
## こんな使い方ができるよ!

- 連打したい音を複数のパッドに振り分ける
- エフェクトのON/OFFをパッドの叩き分けで表現
- 複数のバンクからお気に入りの音を1つのバンクに集める、など

# サンプルを複数のパッドに自動で振り分ける

外部入力 (AUDIO INまたはUSB) からリズムパターンやフレーズをサンプリングする際、入力されたフレーズをBPM解析し、拍ごとに分割して複数のパッドに自動で登録することができます。

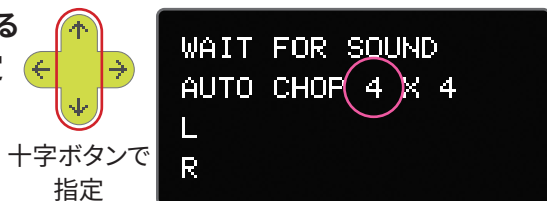
## 1 サンプリングモードで **AUTO CHOP** を選択



## 2 音を登録したい複数のパッドを選択



## 3 1つのパッドに振り分ける拍数 (1、2、4、8) を指定



これで、4拍ずつ4つのパッドに登録する準備が完了!



サンプリングしたいフレーズが入力されると録音スタート

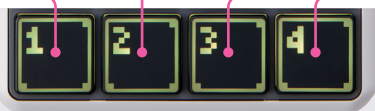
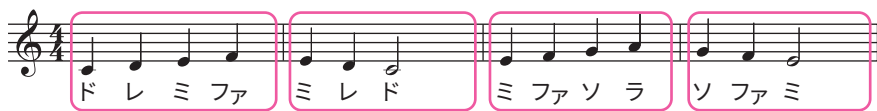


4拍×4 = 4小節分の解析が終わると、録音が自動的に終了します。

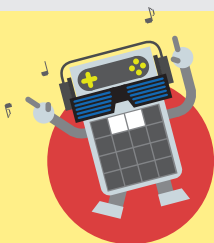
例えばこのようなフレーズは……



このように振り分けられます



振り分けられたサンプルの開始点・終了点は、SOUND EDIT (p.49) の波形編集で変更できます。各サンプルの範囲を前後に広げることも可能です。(振り分けられた他のサンプルには影響しません) ※その際は、前後のサンプルとつながなくなる可能性があります。また、一度編集したサンプルは変更前の状態に戻せないため、リサンプリングなどで元のサンプルをコピーしてから編集することをおすすめします。



## チョップを使いこなそう!

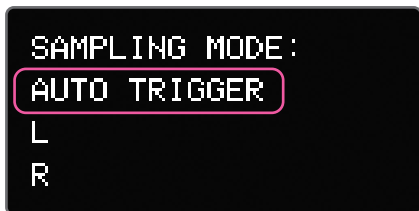
バラバラにしたサンプルを並べ替えたり、再生するタイミングをズラしたりして新たなフレーズを作り出す「チョップ」は、サンプラーならではのテクニック。オートチョップしたサンプルを同じグループに設定 (p.48) して自由にパッドを叩くことで、曲を再構成したような演奏ができるよ!

拍ごとに自動で分割するのではなく、自分の好きなタイミングで分割することもできます。

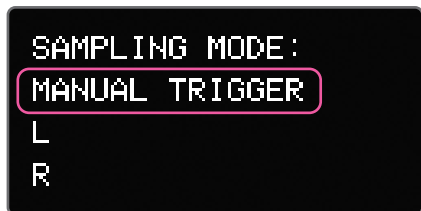
1

サンプリングモードで

**AUTO TRIGGER** または **MANUAL TRIGGER** を選択



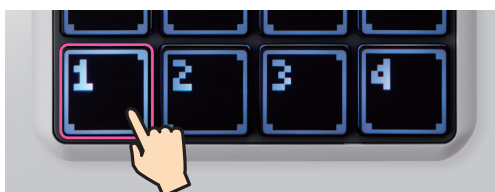
または



2

サンプルを登録したい空のパッドを1つ押す

**MANUAL TRIGGER** の場合はここで録音が始まります。



3

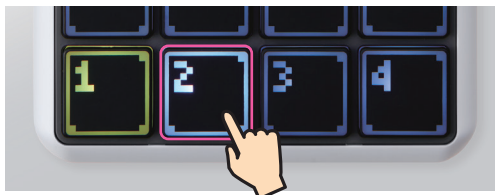
サンプリングしたいフレーズを入力

**AUTO TRIGGER** の場合はここで録音が始まります。



4

分割したいタイミングで、次の空パッドを押す

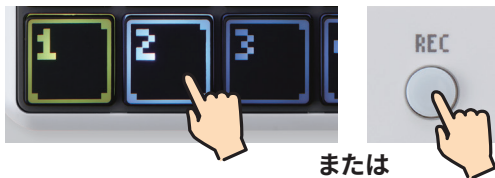


5

これを繰り返し、最後のパッドをもう一度押すか



ボタンで録音終了



または

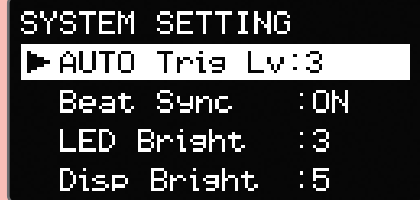
# 自分好みにカスタマイズできるシステム設定



演奏モードで



ボタンを  
長押し



十字ボタンの   で項目を選び、  
  で設定を変更します。

## ■AUTO Trig Lv

サンプリングモードでAUTO TRIGGERを選択した際に、録音が自動スタートする音量を1～5の5段階で設定 (-28dB～-12dBまで4dB刻み/デフォルトは3)。値が小さいほど小音量で録音が始まります。意図しない音で録音が始まったり、逆に、録音がなかなか始まらないということのないように設定します。

## ■Beat Sync

p.18で説明した自動ビートマッチングのON / OFFを設定。デフォルトはOFF。

## ■LED Bright

パッドやボタンのLEDの輝度を0～4の5段階で設定 (0で消灯)。デフォルトは3。

## ■Disp Bright

表示の輝度を1～5の5段階で設定。デフォルトは5。

## ■APO Time

オートパワーオフまでの時間を20分、1時間、2時間、オフで設定。デフォルトは20分。

## ■BATTERY Type

BAT-A (アルカリ乾電池)、BAT-e (eneloop) を切り替え。デフォルトはBAT-A。


## ■POWER Supply

USB給電時は電源コードのアイコンを表示。電池使用時は残量を3段階で表示。



## ■FW Version

ファームウェアのバージョンを表示 (確認のみ)。

## ■SERIAL No.

十字ボタンの  でシリアルナンバーを表示 (確認のみ)。

## ■Initialize

工場出荷時の状態に初期化。十字ボタンの  を押した後、 ボタンで決定。初期化した後、再起動します。

※初期化した場合、サンプリングしたデータは削除されますので、ご注意ください。

# 専用アプリでさらに楽しく便利に!

iOS / Androidアプリ「CASIO Sampler App」と連携することで、  
本機の機能をより便利に使うことができます。



ダウンロードはこちらから

<https://www.casio.com/jp/support/creator-economy/sampler/content/application/>

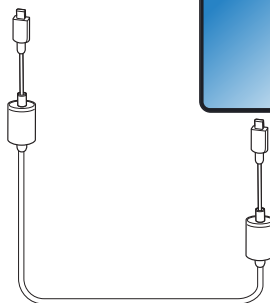


## 本機とスマートフォンを接続しよう



本機のDATA端子とスマートフォンを付属の  
USB Type-Cケーブルで接続します。

※付属のUSB Type-Cケーブルで接続できない場合は  
サポートページをご覧ください。

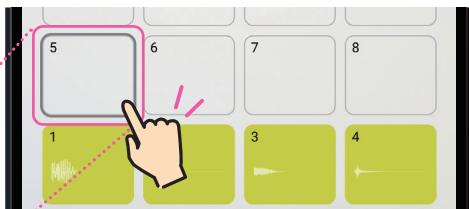


アプリを起動後、本機の電源を入れると、本機の  
状態に合わせてパッドが表示されます。

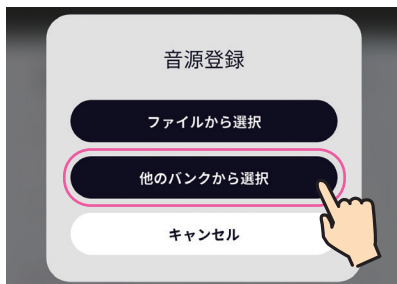
## パッドにサンプルを登録しよう


他のバンクのサンプルや、スマートフォンに保存されている音源をアプリ上で登録できます。ここでは、他のバンクのサンプルをパッドに登録する方法を紹介します。

### 1 空のパッドをタップし「音源登録」をタップします



### 2 選択先のウィンドウが表示されます

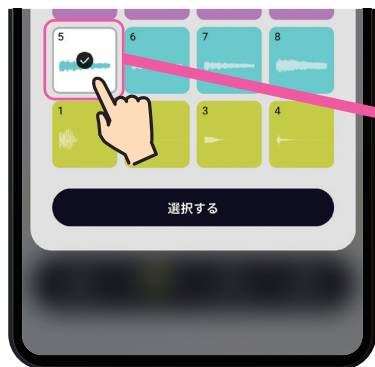


パッドの表示になっていないときは、画面下のタブバーでパッド  を選びます。

※「ファイルから選択」では、WAV、MP3、FLACの音源ファイルまたは.cswpが使用可能です。

### 3 登録したいサンプルのあるバンクを選択し、パッドをタップします

空だったパッドにサンプルが登録されました。



色々なサンプルを集めて新しいバンクを作成してみましょう

## サンプルをコピーしよう

同じバンク内のサンプルを、簡単にコピーすることができます。

### 1 コピーしたい音のパッドをタップします



### 2 そのままコピー先のパッドへスワイプします



※他のバンクへコピーすることもできます。



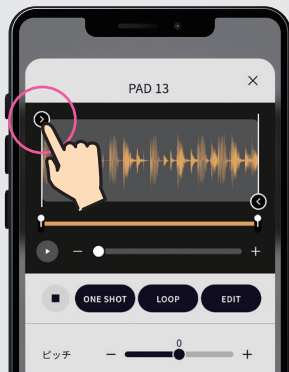
コピー完了!

例えばピアノの単音などをコピーし、SOUND EDIT (p.48) で音程を変更したサンプルを複数用意すると、キーボードのような感覚でパッドプレイを楽しめます。



## 波形を編集しよう

パッドを選択後にアプリの **EDIT** をタップするか本機の **EDIT** ボタンを押すとEDIT表示になります。アプリのEDIT表示ではサンプルの再生開始・終了ポイントをより細かく調整できます。



開始/終了ポイントを  
スワイプで調整できます。



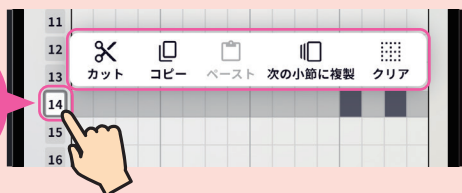
スライダーで波形を拡大  
することができるため、精度  
の高い調整が可能です。



## シーケンスの作成も便利に

シーケンス表示(タブバーのシーケンス )では全パッド分のトラックが表示され、マス目をタップすることで本機と同様に入力が可能です。また、トラック単位/小節単位のコピーも可能なので、複数小節のシーケンスを作成する場合はアプリが便利です。

パッド番号  
を長押し



小節番号  
を長押し



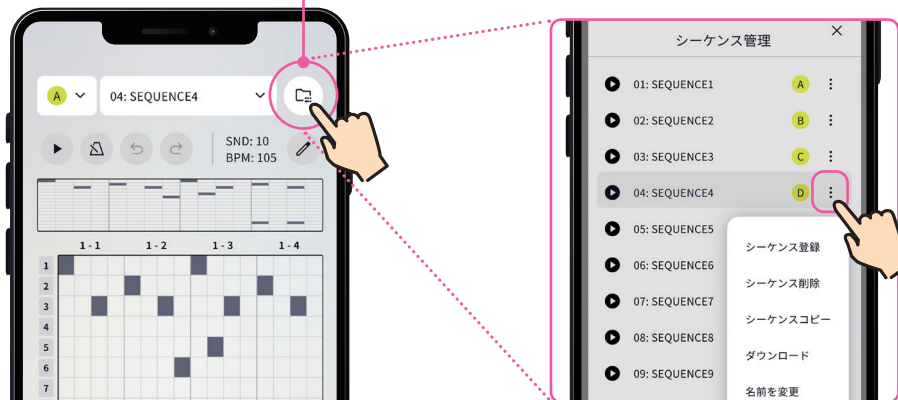
パッド番号や小節番号の  
上を長押しすると編集  
ウィンドウが表示され、  
カット、コピー、ペースト  
などの操作を行えます。




## データの整理 / ダウンロードも可能

作成したバンクやシーケンスをコピー / 削除できるほか、スマートフォンにダウンロードしたり、ダウンロードしたデータを本機に登録することができます。アプリ内で表示されるバンクやシーケンスの名前を変更することも可能です。

右上のアイコンをタップします。



## アップデート / 設定も可能

タブバーのホーム  をタップすると、本機のソフトウェアにアップデートがある場合、ここから簡単に更新することができます。また、本機の情報を確認したりバックアップや各種設定なども行えます。

右上の  アイコンをタップします。





# CREATIVE NOTE

## 手のひらからイマジネーションが溢れ出す!

SXC-1のような「パッド付きサンプラー+シーケンサー」は、ダンスミュージック系を中心に幅広いジャンルのクリエイターが愛用する定番の

機材です。本機は、それを携帯ゲーム機のような

デザインと操作感で実現したデバイス。

遊び感覚で触っているうちにカッコいい

音が作れてしまう、そんな驚きと喜びを

体験できるでしょう。



## オリジナルソング作りも夢じゃない!

遊び感覚で触れるSXC-1ですが、

本格的なこともできてしまうのは

PART 4でご紹介した通り。

本機だけでオリジナルソングを作る

ことも可能です。最初は好きな曲を

真似るところから始めると、さまざまな

機能もスムーズに使いこなせるはず。

遊びから創作へ、今まで知らなかった

楽しさをSXC-1が教えてくれます。



# 付録

- 困ったときは
- 製品仕様
- 各種情報
- 索引

## こんな症状が起こったら

### 電源が入らない

- ▶ USB-ACアダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認してください (p.12参照)。
- ▶ 新しい電池 (別売) に交換してください (p.9参照)。
- ▶ eneloopを使用している場合は、充電してください。

### 何も操作していないのに電源が切れてしまう

- ▶ オートパワーオフ機能により電源が切れました。電源を入れなおしてください。
- ▶ 電池が消耗しています。新しい電池 (別売) に交換してください (p.9参照)。
- ▶ eneloopを使用している場合は、充電してください。
- ▶ スクリーンセイバー機能により表示がオフしています。ボタン操作やパッド操作で復帰することができます。

### オートパワーオフ機能が働かない

- ▶ オートパワーオフの設定を確認してください (p.55参照)。
- ▶ 音源再生中は、オートパワーオフ機能が働きません。

### 電池寿命が記載されているよりも短い

- ▶ LEDの輝度が高く設定されています。輝度設定を下げてください (p.55参照)。

### 急に表示が消えたり、再起動したりする

- ▶ 電池が消耗しています。新しい電池 (別売) に交換してください (p.9参照)。
- ▶ eneloopを使用している場合は、充電してください。

## 通信できない

- ▶ 正しく接続されていません。  
本機とスマートフォンがUSBケーブルで正しく接続されているか確認してください (p.56参照)。
- ▶ 付属のUSB Type-Cケーブルをご使用ください (p.12参照)。

## 音源が聞こえない

- ▶ 音量が適切ではありません。  
音量を調節してください (p.10参照)。
- ▶ ヘッドホン接続時、スピーカーからは音が出ません。  
ヘッドホンのプラグを抜いてください。
- ▶ ヘッドホンが正しく接続されていません。  
ヘッドホンのプラグが正しく奥まで差し込まれているか確認してください。
- ▶ 対応していないヘッドホンを使用しています。  
3.5mmステレオミニ (3極) のヘッドホンを使用してください。

## 音がひずむ

- ▶ 音量が大きすぎます。  
音量を調節してください (p.10参照)。
- ▶ 電池が消耗しています。  
新しい電池に交換してください (p.9参照)。

## 表示が点灯しない、または点滅する

- ▶ 電池が消耗しています。  
新しい電池に交換してください (p.9参照)。

## 表示は消えているが、パッドが光っている

- ▶ 画面保護のため30分経過すると表示が消えます (スクリーンセ이버機能)。  
ボタン操作やパッド操作で復帰することができます。

## 音が録音されない

- ▶ 録音の入力レベルが適切ではありません。  
INPUT VOLまたは外部機器の音量を調整してください (p.28参照)。
- ▶ 録音に使用する入力ソース (側面INPUT SELECTスイッチ) と対応する端子 (USBまたはAUDIO IN) をご確認ください (p.28参照)。
- ▶ プラグが正しく奥まで差し込まれているか確認してください (p.13参照)。

## エラーメッセージ一覧

### メッセージ表示

### 解決方法

SAMPLING ERROR! LOW STRAGE SPACE	メモリーの容量が足りず録音できません。登録してあるデータを消してから再録音してください。
SAMPLING ALERT! REC TIME EXCEEDED	録音時間の上限に達しました。録音は15分以内で終わってください。
SAMPLING ERROR! DATA SAVE FAILED	データ保存に失敗しました。再度保存してください。
REPLACE THE BATTERY	新しい電池 (別売) に交換してください。またはUSB-ACアダプター (別売) を使用してください。eneloopを使用している場合は、充電してください。

# 製品仕様

内蔵マイク	モノラル×1
内蔵スピーカー	モノラル×1、出力0.4W
サンプリング機能	サンプリングレート： 16ビットリニア／48kHz 録音時間： 最大15分(約173MB) 録音フォーマット： WAV(ステレオ) 録音トリガー： 自動録音(閾値検知)／手動録音
同時発音数	最大16音(ステレオ) ※使用状況により以下のように変化します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・Beat Sync：ON時は、タイムストレッチ音 最大4音、ノーマル音 最大8音</li><li>・エフェクト：ON時は、最大10音</li><li>・Beat Sync&amp;エフェクト：ON時は、タイムストレッチ音 最大4音、ノーマル音 最大4音</li></ul>
内蔵ストレージ サイズ	64GB ※約100MBのプリセット音源を含む
電源	USB給電： POWER/DATA端子に接続 電池： 単4形充電池ニッケル水素電池(eneloop)または 単4形アルカリ乾電池 4本 電池寿命： eneloop使用時で約2時間、アルカリ乾電池使用時や使用状況によっては、1時間またはそれ以下になることがあります。 オートパワーオフ： 設定なし、20分、1時間、2時間 から設定可能(初期値は20分)
消費電流	DC 5V 0.57A (USB給電)、DC 6V 0.52A (電池)
表示部 (OLEDディスプレイ)	モノクロ 1.3インチ(128×64ピクセル)、輝度調整あり
入出力端子	・PHONE端子： 3.5mmステレオミニ端子 ・LINE OUT端子： 3.5mmステレオミニ端子 ・AUDIO IN端子： 3.5mmステレオミニ端子 ・DATA端子： USB端子 ・POWER/DATA端子： USB端子
使用温度範囲	0°C～40°C
サイズ	幅100mm×奥行177mm × 高さ27mm(足含む)
質量	約315g(電池を除く)
付属品	USB Type-Cケーブル、スタートアップガイド(保証書付)
別売品	AD-XJ06J Type-C(USB-ACアダプター)、 CB-30USB(USB Type-A to Type-C ケーブル)

※改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

## 仕向地について

- ・日本での使用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等の規制に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

本機は、VCCI協会の技術基準（クラスB）に適合しています。

### JIS C 61000-3-2適合品

本機は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 商標について

次の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- ・QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・「eneloop」は、パナソニックグループの登録商標です。
- ・「USB Type-C™」は、USB Implementers Forumの商標です。
- ・IOSは、米国シスコの商標または登録商標です。
- ・Android は、Google LLCの商標または登録商標です。
- ・その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

## OSS（オープンソースソフトウェア）について

本機のソフトウェアにはオープンソースソフトウェアが含まれております。各ソフトウェアのコピーライトおよびライセンスにつきましては、下記弊社サポートページからご確認いただけます。

<https://www.casio.com/jp/support/creator-economy/sampler/manual/?model=SXC-1>

## 著作権に関するご注意

音楽、映像、コンピュータプログラム、データベースなどは著作権法により、その著作  
者および著作権者等の権利が保護されています。こうした著作物は、個人的にまたは家  
庭内で使用する目的その他法令により認められた目的に限り利用することができます。  
上記の目的を超えて、権利者の承諾なくこれを複製、改変、譲渡、ネットワーク上での  
配信などを行うと、著作権等の侵害として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることが  
ありますので、本機を使用して著作物の複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の  
上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

- ・本機に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、シーケンスパターン、画像データ  
など）の著作権は当社が保有しています。
- ・本書に記載の条件を遵守した上で本機に内蔵、付属されたコンテンツを素材としてお  
客様が創作した著作物を演奏、録音、頒布等するにあたり、当社の許諾を必要としま  
せん。
- ・本機に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、または実質的に同一の形態で取り  
出し、利用（別の記録媒体に固定して頒布したり、コンピューター・ネットワークを通じ  
て公開したりすることを含みます）しないでください。

## アフターサービス窓口について

## 機能・操作・購入先に関するお問い合わせ先



0120-088928

番号通知をお願いしております。  
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>



受付時間は弊社ホームページでご確認ください  
<https://www.casio.com/jp/support/creator-economy/sampler/inquiry/advice/>  
・ 本体・オプションの使い方・故障診断等の窓口です

## 修理に関するお問い合わせ先



0120-004161

番号通知をお願いしております。  
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>



受付時間は弊社ホームページでご確認ください  
<https://www.casio.com/jp/support/creator-economy/sampler/inquiry/repair/>  
・ 修理料金や修理期間等の窓口です

## 修理お申込み先

カシオへ直接修理をご依頼いただく場合は、  
安心便利なWEB修理受付サービスをご利用ください。



ホームページよりお申し込みいただけます。  
<https://casio.jp/support/repair/contact/>

## ホームページによる情報の提供について

製品のQ&A、製品・修理のお役立ち情報、各種サポート情報、機能・操作  
や修理のお問い合わせに関する情報をホームページで提供しております。  
カシオホームページ <https://www.casio.com/jp/> から「お客様サポート」  
のページをご参照ください。

カシオ製品の修理サービスに関する業務はカシオテクノ株式会社が担当いたします。  
・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

## あ行

アクティブスピーカー	13
アフターサービス	68
オートチョップ	52-53
オートトリガー	29
オートパワーオフ	9, 12, 55, 63, 66

## か行

機能一覧	11
機能ボタン	10-11
クオンタイズ	18, 40
グループ化	22, 48

## さ行

サンプリング	27-34, 50-54
サンプリングモード	29, 50, 52, 54-55
十字ボタン	10-11
シーケンサー	35-45
シーケンスモード	11, 36-44
シーケンスバンク	36, 47
システム設定	55
商標	67
初期化	55
ステップ入力	41
スクリーンセイバー	7, 63, 64
スライダー	10
ストラップ	6, 8
製品仕様	66

## た行

タイムストレッチ	18, 66
ダイヤル	10, 24-25, 49
チョップ	33, 53
電源スイッチ	9-10, 12
電池交換	9, 12

電池寿命	9, 63, 66
電池プタ	9-10, 12

## な行

内蔵スピーカー	7-10, 13, 64, 66
内蔵マイク	7, 10-11, 28, 50, 66

## は行

波形	10, 19, 33, 49, 53, 59, 68
波形編集	10, 49, 53, 59
パッド	7, 10-11, 14-26, 37, 47, 63-64
パッドプレイ	14-26
バンク	10-11, 15-17, 23, 37, 44, 51, 57
表示部	5, 7, 10, 66
フィンガードラム	19-20, 26
プリセット	16-17, 21, 33, 34, 49
ボイスパーカッション	27-31

## ま行

ミキサー	10, 13
メトロノーム	37, 39, 41, 44

## や行

ユーザーエリア	16
---------	----

## ら行

リアルタイム入力	41, 43-44
リサンプリング	33, 50-51
ループ音源	17-18, 20-21, 43, 47, 51
録音	7-10, 27-34, 50-54, 65-66, 68

## わ行

ワンショット音源	17, 21, 23, 31, 43
----------	--------------------

## A-Z

- AD-XA06J Type-C ..... 8, 12, 66
- Android ..... 56, 67
- APO Time ..... 55
- AUDIO IN端子 ..... 10, 28, 51-52, 65-66
- AUTO Trig Lv. .... 55
- BAR ..... 44
- BAT-A ..... 55
- BAT-e ..... 9, 55
- BATTERY Type ..... 9, 55
- Beat Sync ..... 18, 20, 47, 49, 55, 66
- BIT CRUSHER ..... 25
- BPM ..... 11, 18, 39, 44, 47, 49, 52
- CASIO Sampler App ..... 56-60
- CB-30USB ..... 66
- CLEAR ..... 44
- COLOR ..... 49
- DAW ..... 45
- DATA端子 ..... 7-8, 10, 12, 28, 56, 66
- DEL ..... 10-11, 32
- DELAY ..... 25
- Disp Bright ..... 55
- EDIT ..... 10-11, 33, 44, 48-49, 59
- EDM ..... 47
- eneloop ..... 9, 12, 55, 63, 65-67
- FILTER ..... 25
- FLAC ..... 57
- FLANGER ..... 25
- FW Version ..... 55
- FX(エフェクト) ..... 10-11, 24-25, 51, 66
- GROUP ..... 48
- Initialize ..... 16, 55
- INPUT SELECT ..... 10, 28, 50, 65
- INPUT VOL ..... 10, 28, 65
- iOS ..... 56, 67
- LED Bright ..... 55
- LED ..... 8-9, 55, 63
- LINE OUT端子 ..... 8, 10, 66
- LOOP ..... 10, 21
- MAIN VOL ..... 7, 8, 10
- METRONOME ..... 44
- MIC ..... 10, 28
- MIDI ..... 10
- MP3 ..... 57
- ONE SHOT ..... 10, 21
- PHASER ..... 25
- PHONE端子 ..... 8, 10, 13, 66
- PITCH ..... 33, 48
- POWER/DATA端子 ..... 8, 10, 66
- POWER Supply ..... 55
- PRECOUNT ..... 44
- REC ..... 10-11, 65
- REPLACE THE BATTERY ..... 9, 65
- ROLL ..... 25
- SERIAL No. .... 55
- SOUND BANK ..... 44
- TRACK ..... 44
- USB Type-C ..... 7, 12, 56, 64, 66, 67
- USB-ACアダプター .. 3, 7-9, 12, 63, 65-66
- USBケーブル ..... 3-5, 8, 11-12, 28, 64
- VOLUME ..... 44, 48
- WAV ..... 57, 66

**CASIO®**